

# 宮崎県感染症週報

宮崎県感染症情報センター  
宮崎県健康増進課  
宮崎県衛生環境研究所

## ■ 宮崎県第38週の発生動向

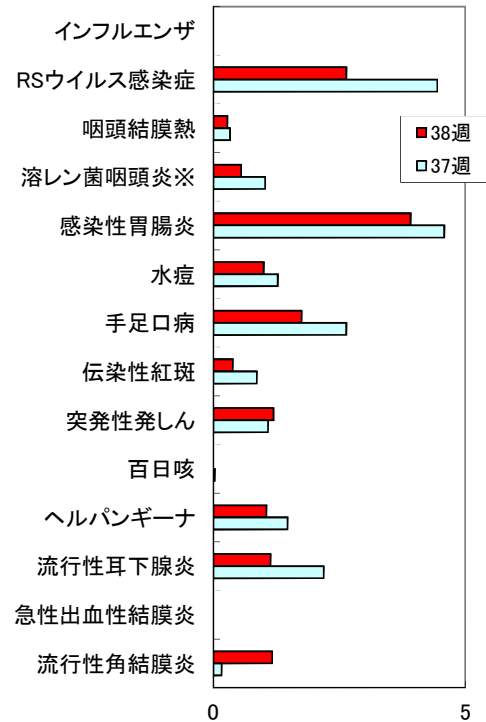
定点医療機関からの報告総数は 509 人（定点あたり 15.2）で、前週比 75%と減少した。

前週に比べ増加した疾患は流行性角結膜炎で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症、伝染性紅斑、流行性耳下腺炎であった。

RSウイルス感染症の報告数は 95 人（2.6）で前週比 59%と減少したが、例年同時期の定点あたり平均値（0.84）の約 3 倍である。日向（8.3）・都城（4.0）保健所からの報告が多く、年齢別では 2 歳以下で全体の約 9 割を占めた。

マイコプラズマ肺炎 1 人が都城保健所から報告された。4 歳の女兒で病原体は *Mycoplasma pneumoniae* であった。

《前週との比較》



《定点あたり報告数》  
※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

## □ 疾患別流行警報開始基準値超過疾患

	流行警報開始基準値	定点あたり報告数		年齢分布
		宮崎県全体	基準値を超えた保健所	
手足口病	5	1.8	中央(5.0)	1~4歳で全体の約7割を占めた。
ヘルパンギーナ	6	1.1	延岡(6.5)	6ヶ月~3歳で全体の約8割を占めた。

※ 手足口病は、平成 23 年 6 月 30 日に流行警報開始基準値 5 を上回ったので流行警報を発令しましたが、第 38 週において終息基準値 2 を下回った（1.8）ので、警報を解除します。

□ 保健所別流行警報開始基準値超過疾患

保健所名	流行警報開始基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	ヘルパンギーナ(6.5)
日南	なし
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	手足口病(5.0)

■ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症 : 報告なし。
- 2 類感染症 : 結核 2 例が日南・日向 (各 1 例) 保健所から報告された。  
 《日南保健所》・70 歳代の女性で肺結核。  
 《日向保健所》・90 歳代の男性で肺結核 (37 週分)。咳、痰、発熱がみられた。
- 3 類感染症 : 報告なし。
- 4 類感染症 : ○レプトスピラ症 2 例が宮崎市保健所から報告された。  
 ・50 歳代の男性で発熱、筋肉痛、結膜充血、黄疸、出血症状、蛋白尿、腎不全、悪心、嘔吐がみられた。発症前に川の清掃作業あり。  
 ・70 歳代の男性で発熱、黄疸、出血症状、発しんがみられた (36 週分)。
- 5 類感染症 : ○破傷風 1 例が宮崎市保健所から報告された。80 歳代の男性で筋肉のこわばり、開口障害、嚥下障害、強直性痙攣がみられた。

■ 病原体情報 (衛生環境研究所 微生物部)

□ 細菌 (平成 23 年 9 月 13 日～平成 23 年 9 月 26 日までに検出)

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
腸管出血性大腸菌(O103:H2 VT1)	30代前半	女	2011.9.7	下痢	便	2011.9.16
<i>Salmonella</i> Typhimurium (O4:i:1,2)	30代前半	男	2011.9.14		便	2011.9.22

□ ウイルス（平成 23 年 9 月 13 日～平成 23 年 9 月 26 日までに検出）

同定ウイルス名	年齢	性別	採取日	臨床症状	材料	検出日
コクサッキーウイルスB1	1	女	8.12	けいれん重積発作、発熱、意識障害、麻痺	便	9.13
コクサッキーウイルスB1	12day	女	8.25	新生児無菌性髄膜炎、37.3℃	咽頭ぬぐい液・便	9.13

○けいれん重積発作と診断された小児の便および無菌性髄膜炎と診断された新生児の便・咽頭ぬぐい液からコクサッキーウイルスB1型が分離された。全国でのコクサッキーウイルスB1型の検出数は、2007～2009年で約10～30件であったが、昨年は132件と多く、本年も9月27日までに96件報告されている。

■ 全国第 37 週の発生动向

定点医療機関あたりの患者報告総数は 13.3 で、前週比 92%と減少した。今週増加した主な疾患は R S ウイルス感染症と A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患はヘルパンギーナであった。

R S ウイルス感染症の報告数は 1,414 人で、前週比 107%と増加した。大阪府 (205 人)、宮崎県 (160 人)、東京都 (126 人) からの報告が多く、年齢別では 2 歳以下が全体の約 9 割を占めた。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 2,232 人 (0.72) で、前週比 107%と増加した。北海道 (1.5)、福井県 (1.4)、富山県・山口県 (各 1.3) からの報告が多く、年齢別では 3 歳から 6 歳で全体の約半数を占めた。

□ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症 : 報告なし。
- 2 類感染症 : 結核 364 例
- 3 類感染症 : コレラ 1 例、細菌性赤痢 13 例、腸管出血性大腸菌感染症 81 例
- 4 類感染症 : E 型肝炎 1 例、A 型肝炎 1 例、日本紅斑熱 2 例、日本脳炎 1 例、マラリア 1 例、レジオネラ症 22 例
- 5 類感染症 : アメーバ赤痢 10 例、ウイルス性肝炎 1 例、急性脳炎 1 例、クロイツフェルト・ヤコブ病 3 例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2 例、後天性免疫不全症候群 14 例、ジアルジア症 1 例、梅毒 9 例、破傷風 2 例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1 例、風しん 2 例、麻しん 3 例

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2011年 第38週(09月19日～09月25日)

疾病名		第37週	第38週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	160	95	17	24	10	7	1	2		33	1
	定点あたり	4.44	2.64	1.70	4.00	2.50	2.33	0.33	0.50	0.00	8.25	1.00
咽頭結膜熱	報告数	12	10	1	1	3	4				1	
	定点あたり	0.33	0.28	0.10	0.17	0.75	1.33	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	37	20	2		10	3		4			1
	定点あたり	1.03	0.56	0.20	0.00	2.50	1.00	0.00	1.00	0.00	0.00	1.00
感染性胃腸炎	報告数	165	141	10	31	6	22	24	24	4	17	3
	定点あたり	4.58	3.92	1.00	5.17	1.50	7.33	8.00	6.00	4.00	4.25	3.00
水痘	報告数	46	36	13	10	1	3		8		1	
	定点あたり	1.28	1.00	1.30	1.67	0.25	1.00	0.00	2.00	0.00	0.25	0.00
手足口病	報告数	95	63	18	16		11	7	5		1	5
	定点あたり	2.64	1.75	1.80	2.67	0.00	3.67	2.33	1.25	0.00	0.25	5.00
伝染性紅斑	報告数	31	14	2	2	4		1			5	
	定点あたり	0.86	0.39	0.20	0.33	1.00	0.00	0.33	0.00	0.00	1.25	0.00
突発性発しん	報告数	39	43	9	11	7	4	3	6		3	
	定点あたり	1.08	1.19	0.90	1.83	1.75	1.33	1.00	1.50	0.00	0.75	0.00
百日咳	報告数	1										
	定点あたり	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	53	38	1	2	26	4	2			2	1
	定点あたり	1.47	1.06	0.10	0.33	6.50	1.33	0.67	0.00	0.00	0.50	1.00
流行性耳下腺炎	報告数	79	41	14	9		8	1	6		1	2
	定点あたり	2.19	1.14	1.40	1.50	0.00	2.67	0.33	1.50	0.00	0.25	2.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	1	7	5	1	1						
	定点あたり	0.17	1.17	1.67	0.50	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	1	1		1							
	定点あたり	0.14	0.14	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数  
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2011年第1週～38週)

2類感染症	結核	203例(2)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	51例				
4類感染症	A型肝炎	1例	チクングニア熱	1例	つつが虫病	2例
	日本紅斑熱	2例	レジオネラ症	1例	レプトスピラ症	4例(2)
5類感染症	アメーバ赤痢	9例	ウイルス性肝炎	2例	急性脳炎	5例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例	髄膜炎菌性髄膜炎	2例	後天性免疫不全症候群	10例
	梅毒	7例	破傷風	8例(1)	風しん	1例
	麻しん	1例				

●動物感染症累積報告数(2011年1週～38週)(参考)

指定感染症	鳥インフルエンザ(H5N1)の鳥類	20例
-------	-------------------	-----

( )内は今週届出分、再掲